

第3回あきる野市農業振興計画策定検討委員会 会議要録

【開催日時・場所】

日時：令和4年10月24日（月）午後1時30分から午後3時00分まで

場所：あきる野市役所 別館3階 第一会議室

【構成委員と出席者】

	氏名	所属	出欠
委員	相原 宏次	東京都農業会議 事務局長	出席
	甲野 富和	あきる野市農業委員会 会長	欠席
	高木 守	秋川農業協同組合 地域振興部長	出席
	横田 弘文	秋川ファーマーズセンター 直売所運営委員会 会長	出席
	宮崎 恒雄	五日市ファーマーズセンター 直売所運営委員会 会長	出席
	田中 英雄	十里木・長岳農畜産物等直売組合 副組合長	出席
	嶋崎 三雄	あきる野市農業振興会 会長	出席
	石川 光代	あきる野市農業振興会 幹事	出席
	山下 まこと	消費者の代表	出席
	秋山 とし子	消費者の代表	欠席
	飯田 淳二	東京都農業会議	出席
	久保田 聡	東京都西多摩農業改良普及センター 所長	欠席
	鎌田 純徳	東京都農業振興事務所	出席
	大久保 学	あきる野市環境経済部 部長	出席
事務局	青木 邦彰	あきる野市環境経済部農林課 課長	出席
	藤島 和彦	あきる野市環境経済部農林課農政係 係長	出席
	金澤 知行	あきる野市環境経済部農林課農政係 主事	出席

【配布資料】

資料1 「会議次第」

資料2 「あきる野市農業振興計画素案」

資料3 「あきる野市農業振興計画表紙案」

【会議内容（議事要旨）】

1. 開会 （事務局）
2. 挨拶 （相原委員長）
3. 議事

（1）あきる野市農業振興計画素案について

事務局より「あきる野市農業振興計画素案」について説明（資料2）。

（2）表紙の決定について

事務局より「あきる野市農業振興計画表紙案」について説明（資料3）。

（3）その他

事務局より「策定検討委員会スケジュール」について説明。

4. 閉会

【会議内容（意見・質疑応答）】

会議における主な「意見・質疑応答」は以下のとおり。

（1）あきる野市農業振興計画素案について

- （委員）素案P12「農畜産物の安定供給」について、補助事業は今後も継続していくことが重要である。燃料価格、資材価格も上がっているので、継続した支援が行えることを計画に反映していただきたい。
- （委員）素案P16「（2）安心して農業のできる生産環境整備」について、西秋留地区から西側の地域については基盤整備ができていない場所が多い。基盤整備をはじめ、赤道などの整備を計画に反映していただきたい。
（事務局）農業者からの要望を上げてもらえれば、必要に応じて検討していく。
- （委員）素案P14「ひまわり緑肥事業」について、本事業は、市が主催の事業であるか。
（事務局）JAあきがわとあきる野市農業振興会の共催で開催させていただいた事業である。

- （委員）素案P15「のらぼう菜のお味噌汁の開発」とは何か教えていただきたい。
（委員）フリーズドライによる、お湯を入れることで飲むことができる味噌汁である。すでに各直売所にて販売が開始されている。

- （委員）ひまわり事業については、継続の意向はあるのか。
（事務局）あきる野市農業振興会とも相談しながら、5年間は継続して行きたいと考えている。

- （委員）地産地消について、地域の中ではなく、地域外への販路拡大についての検討の項目を追加してはどうか。
（委員）市内では産業祭等のイベント開催により、地産地消の取り組みを行っている。市外では新宿区にて年1回程度の販売会を行っている。今後も継続していくことはもちろん、このようなイベントをきっかけに都内での販路拡大の足がかりになればよい。
（委員）都内区部での学校給食向けに、JAあきがわ主体で出荷を行っている。JA同士の交流もあり、野菜の販売会を検討することは可能である。現在は、毎日都内に向けての販売はできず、市内の需要を満たすことで手いっぱいになっている。余力があるの農家については、市及びJAが協力し、地場産野菜の販売を行っていければよい。できるところから検証を行っていければ良いのではないかと。
（事務局）いただいた意見を参考に、消費拡大に向けたビジネスモデルの検討についての項目を入れていく。

- （委員）秋川とうもろこしなどの名前で近隣のスーパーに産地直送コーナーを作ることで地場産野菜のPR活動につながるのではないかと考える。

- （委員）素案P14「遊休農地の再生・活用」について、農業委員だけでなく、推進委員を追加しても良いのではないかと。
（委員）P4、5について、農業経営基盤強化促進法の令和5年4月施行予定の改正内容を入れ込んでも良いのではないかと。
（事務局）法改正の部分も盛り込んだものを計画に反映させていただく。

- （委員）獣害対策について、どのような考えを持って対策を行っているのか。
（事務局）都の補助事業は継続して活用している。また、近年、獣害対策として、市では猟友会の職員を雇用し、重点的に対策に乗り出している。

- （委員）鳩は駆除対象か。
（事務局）年間の捕獲頭数が決まっており、有害鳥獣の捕獲対象になっている。

- （委員）今後のスケジュールについて教えていただきたい
（事務局）第4回の策定検討委員会が2月にあり、最終的には3月末頃に計画が定まる予定。

（2）表紙の決定について

- （委員）のらぼう菜の写真が前回あったが今回は入れないのか。
（事務局）のらぼう菜の写真を入れさせていただく。
- （委員）現在直売のとうもろこしに白混じりのバイカラーは少ないため、黄色1色のものにしてはどうか。
- （委員）施設の写真には名称を入れた方がよい。
- （委員）ヤギではなくイチゴの写真はいかがか。
- （委員）トマトの写真はもっときれいなものを入れた方がよい。
- （委員）秋川ファーマーズセンターの写真はさらに拡大し、また、背景は青空がよい。
- （委員）「あきる野市農業振興計画」のタイトルはもう少し大きい方がよい。
- （委員）今後推奨していくもの、計画に載っているものを入れ込むのはどうか。例えば、あきる野産ワインのブドウを入れるなど。
- （委員）農家さんの笑顔の写真をいれるのはどうか。
（委員）広く公表されるため、個人が特定されるものは控えるべきであり、絵であれば著作権も関係ないのでよいかもしれない。
- （委員）作物の写真はそれを見るだけで、どこの直売所に属しているかがわかるようにした方がよい。
- （委員）裏表紙は入れないか。その中に写真の説明があってもよいかもしれない。